

「河床変動計算システム検討」研究分科会活動報告 (2006年3月以降の活動)

4/27 に国土技術研究センターで委員会を開催。議事メモ（国土技術研究センター作成）は、以下のようです。

◎多摩川を用いてのシステム実証について

1. 今回の多摩川の検証でシステムの実証は実施できたものとし、システムの WEB による配布を行うものとする。
2. ただし、今回の流量規模は比較的中規模のものであるため、混合粒径モデルを単一粒径モデルとの単純な比較は難しい。
3. 今回は河床変動がおおきなものでの実証ではないので、今後も様々な河相の実河川で用い、問題点を抽出することが必要である。
4. 流れ計算モデルと流砂量モデルは、自由に組み合わせることができないか
5. 計算モデルの名称は、公開前まで先生方各自で決定し、国土センターにお知らせ頂きたい。

◎今後の検討について

6. マニュアルに計算条件設定（適応性？）を明記すべき。体制を作って、1年程度やれば、モデルについて色々なことが分かってくるのではないか。
7. 計算エンジン登録については、マニュアルも整備する必要がある。・流量条件は、計算途中で変更できるようにしたい。
8. 英語版は必要。
9. システムの広げるための説明会が必要であり、これについては先生方の参加もお願いしたい。

- ・ 1.の WEB による配布は、まだ始まっておりません。
- ・ 8については、国土技術研究センターの予算で6月末に英語版が完成する予定。
- ・ 9については、基礎水理部会が共催となり、開催する予定。

その他

- ・ 9/1 にデルフト水理研究所で開催する日蘭セミナーの旅費を国土交通省に申請中。
- ・ ソフトのメンテナンス費用は、国土交通省が支出する予定。